

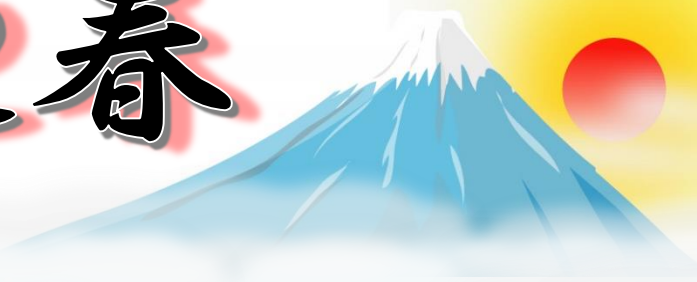


都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
<http://tsushimi.jp>

発行部数 500部
 発行月 1, 4, 7, 10月
 発行人 都志見病院
 広報委員会

迎春



皆さん、明けましておめでとうございます。旧年中は、都志見病院に暖かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、皇位継承に伴い天皇陛下が即位され、5月より元号が「令和」となりました。記念すべき新しい時代の幕開けとなりましたが、自然の猛威による被災が目立った年でもありました。九州や東北地方を中心に1月から8月の間に震度5以上の地震が5回も発生し、8月下旬には九州北部豪雨が佐賀・長崎に甚大な被害をもたらしました。また、9月初旬には台風15号、10月中旬には台風19号の上陸により関東や東北地方を中心に多数の死傷者が出る事態となりました。

幸いなことに萩市においては大きな自然災害はありませんでした。しかし、全国的にも問題となっている人口の減少については、萩市も歯止めがかからず、2040年には人口が30,000人を下回ることが予想されます。住み慣れたこの街に次第に活気が無くなっていくのを目の当たりにするのは寂しい限りです。そこで、当院は、私たちが安心して暮らすことができ、また、人々が集まる街づくりのために1つの大きな決断をしました。それは萩市民病院との統合の協議を始め、より強力な中核病院をつくるという決断です。

萩市は以前から、医師・看護師等の医療従事者の不足や高齢化という深刻な問題を抱えていましたが、解決できないまま現在に至っています。また、萩市には当院を含め、4つの急性期病院がありますが、いずれも中・小規模のため、がん・脳疾患・心疾患・産婦人科疾患・小児疾患などの必要不可欠な医療について、医療資源が不足、又は分散しています。そこで当院は、急性期医療や二次救急医療については、萩市内で対応可能な中核病院の形成を前提として、萩市民病院と統合に向けての協議を始めることにしました。中核病院ができれば、萩医療圏の医療機関と医療の提供体制について、その役割を話し合い、圏域全体として患者さんの流れを作ることができます。

このように当院は、「至誠を尽くし、信頼ある医療を通じて地域社会に貢献する」という理念を実現するために、今年から新たな一歩を踏み出します。実現までの道のりは決して平坦ではないでしょう。しかし萩医療圏の今後の為にはやり遂げねばなりません。

皆さんの倍旧のご厚情を切にお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。 理事長 都志見睦生



都志見病院主催

入場無料

申込不要

地域がん公開講座のお知らせ

「がんは身近な病」

- ◆ 日時：令和2年2月22日(土)14:30～16:30
- ◆ 場所：萩市総合福祉センター 多目的ホール
- ◆ 講師：山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学教授

永野 浩昭 先生

【お問合せ先】

医療法人医誠会 都志見病院 ☎0838-22-2811

地域がん公開講座

がんは身近な病

がんについて考えよう。

令和2年 **2/22** 土
14:30～16:30
[開場14:00]

聴講無料
全席自由
*(手荷物検査あり)

会場
萩市総合福祉センター
多目的ホール

講師
「山口県における地域癌治療の現状と取り組み」
山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学教授 永野 浩昭 先生

話題提供
「地域がん診療病院の役割～救急搬送の現状～」
医療法人 医誠会 都志見病院 山本 達人
「がんと向き合う～自分らしく生きる～」
高橋 侑花 内田 真理

お問合せ先 ● 聖地法人 医誠会 都志見病院 TEL 0838-22-2811 (代)

11月14日(木)～16日(土)
第81回日本臨床外科学会総会in高知市
外科 亀井滝士

10月6日(日) 第73回長北医学会in萩
看護師 中村和美、坂本淑子、吉浦 香
臨床工学技士 小室みさき
管理栄養士 高橋侑花、内田真理

当院(山口県山陰地方)における
緩和医療についての現状と課題



医療法人医誠会都志見病院 外科
亀井滝士、山本達人、鍋屋まり、
坂本和彦、北村義則、安藤静一郎

TSUSHIMI Hospital Dep. Of Surgery

学会発表しました!!



育てよう!! 私たちの仲間
たまごからひよこへ
係長会の取り組み

医療法人医誠会 都志見病院
係長会

- 中村和美 金田妙子 芦谷多美子
- 矢次桂子 奥川広子 三浦広子
- 笠場吏沙 仁保博和 江水初美

TSUSHIMI Hospital

多重課題の解決と急変時の対応
～新人へシミュレーション研修を行って～



令和元年10月6日
医療法人医誠会 都志見病院

- 坂本淑子 柴田純子
- 阿武恵子 西村真理子
- 金子三喜 宮原恵子

ラテックスアレルギー患者に対する
統一した看護を行うための取り組み

都志見病院 手術室

- 吉浦香 江水初美 石飛光太郎
- 阿武恵子 三好政治 齋藤みどり

2019. 10. 06

患者を交えた災害訓練を実施して

医療法人 医誠会 都志見病院 透析室

- 1) 臨床工学部 2) 看護部
- 小室 みさき 中野 賢治 野村 知由樹 松本 優
- 未廣 晃一 齋藤友貴
- 2) 松浦 由美子 山影 真弓

TSUSHIMI Hospital

当院NST
(Nutrition Support Team)による
継続的栄養介入の評価



都志見病院NST

内田真理、坂本和彦、齋藤 享、高橋侑花、
坂辻広美、波多野利枝、杉山尚子、松本桃子、
大賀寛己、山本達人

2019年10月6日(日) 第73回長北医学会

生体インピーダンス法を用いた
高齢者の周術期評価

都志見病院



高橋侑花

坂本和彦、齋藤享、内田真理、
坂辻広美、波多野利枝、芦谷多美子、
吉谷由美子、三浦広子、多田正子、
杉山尚子、松本桃子、大賀寛己、山本達人



日本認知症学会専門医・指導医に認定されました!!



認知症医療に関する広範かつ高度な知識と技量、および倫理観を備えた臨床医を養成し、認知症医療を向上させ、科学的エビデンスに基づいた認知症医療、認知症患者の介護・ケアの向上を図ることを目的とした日本認知症学会の設定した日本認知症学会専門医(略称:認知症専門医)および同指導医に令和元年11月6日をもって認定されました。平成22年に当院は物忘れ外来を開設しておりますが、今後ともさらに萩・阿武・長門地区の認知医療などのお役に立てればと思っています。

病院長(脳神経外科医師)亀田秀樹



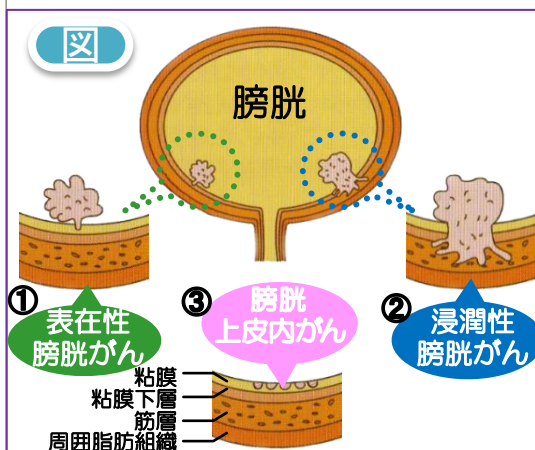
-シリーズ- “がん”について知っておこう 『膀胱がん』

膀胱癌は、膀胱の内腔を覆う粘膜から発生する癌で、比較的早期から痛みを伴わない血尿(無痛性血尿)が出現する特徴があります。事実、膀胱癌の患者の80%は血尿を契機に発見されます。

膀胱癌原発巣のタイプは下図にあるように、①膀胱内腔へは突出するが、癌が膀胱表面の粘膜にとどまっている表在癌(早期癌)、②膀胱筋層より深くまで広がった浸潤癌、及び③膀胱粘膜に癌細胞がばらまかれた状態になっている膀胱上皮内癌の3つに分類されます。表在癌には経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)が行われます。この手術は切除用の膀胱鏡を尿道から膀胱内に入れ、内視鏡で確認しながら電気メスで癌を切除します。開腹の必要がなく、手術による体への負担は軽度です。浸潤性膀胱癌のうち、癌が筋層にとどまっている癌、筋層浸潤癌は、膀胱全摘除術が行われます。膀胱を摘出するために尿路変更が必要です。一般的な尿路変更術としては回腸導管が行われており、その場合は腹壁に集尿バックを装着します。手術による勃起機能の消失や集尿バックの装着により、生活の質の低下は避けられません。加えて、膀胱全摘除術は大きな手術で、高齢や合併症のために治療が行えない場合もあります。上皮内癌は、抗がん剤やBCG(弱毒の結核菌)を膀胱内へ注入し、治療を行います。BCGの膀胱内注入療法により、80%の症例で上皮内癌は消失します。膀胱全摘除術が行えない浸潤癌には放射線治療を行います。抗がん剤を同時に併用すると放射線の効果が増強されます。抗がん剤併用放射線療法により、浸潤癌でも膀胱を温存できることもあります。転移のある膀胱癌は抗がん剤で治療を行います。抗がん剤は膀胱癌に対して比較的有効です。近年、抗がん剤で効果がみられない場合は、免疫チェックポイント阻害剤が保険適応になり、治療により癌が消失した症例の報告もあります。膀胱癌の治療法は進歩し、治療の成績も向上しています。しかし、膀胱癌において一番大切なことは、早期に膀胱癌を発見することです。膀胱癌では早期から血尿が出現しますが、痛みが伴わず、早期では数日で血尿が消失するために、治ったと錯覚し受診が遅れることがあります。血尿が止まらなくなって受診された時には、膀胱癌が進行していることもあります。一度でも無痛性血尿が生じた場合は、早めに泌尿器科を受診することをお勧めします。



泌尿器科医師
石津和彦



膀胱

① 表在性膀胱がん




② 浸潤性膀胱がん

③ 膀胱上皮内がん

粘膜
粘膜下層
筋層
周囲脂肪組織

地域の皆様とつながる『訪問看護ステーションつばき』

訪問看護ステーションとは、ご自宅で療養される方に看護を提供するサービス機関で、病院のナースステーションのような、地域にあるナースステーションです。在宅でも安心して療養生活が送れるよう、訪問看護師が、かかりつけの医師との連携のもとに、お一人おひとりの心身の状態に応じた看護を提供します。

-  病状は比較的安定しているけれど継続的な療養が必要な方
-  医師の指示に基づく医療処置や看護が必要な状態の方
-  経管栄養・在宅酸素・吸引・点滴注射・人工呼吸器・緩和ケアなどの高度な医療処置が必要な方



上記のような方が、自宅で自分らしく暮らしたいと思われたり、最期は自宅で看取りたい・看取られたいとお考えになった時、在宅医療のスペシャリストである私達、訪問看護師が療養される方やそれを支えるご家族の方を24時間、支援させていただいております。常に利用者様に寄り添い、住み慣れたご自宅で希望される療養生活に少しでも近づけるようお手伝いさせていただきます。

入院中から、病棟や多職種のスタッフと連携を図りスムーズに在宅生活に移行できるように相談や支援を行っており、退院直後の不安を軽減できるように数日間の訪問にも対応させていただきたいと考えております。

都志見病院 東館1階につばきの事務所があり、ケアマネージャーや訪問リハビリも隣接して連携を図っております。どんな些細なことでも構いませんので是非一度ご相談ください。



第15回 出前講座 in 佐々並 を開催しました

令和元年10月19日(土)午前中、萩市旭活性化センター(佐々並公民館)にて“がんについて知っておこう”を開催しました。当日は小雨の降る少し肌寒い、あいにくのお天気でしたが、多くの方がお越しくださいました。山本副院長、宮本保健師、そして患者サロン“だいたい”代表岡野氏による三講演を行いました。皆さん最後まで熱心に耳を傾けてくださり、盛況裏に終えることができました。

また、“あさひ居宅介護支援事業所”の方から、会場内の皆さんやスタッフに飲み物等をご提供いただきました。温かいおもてなしをいただき、ご配慮にスタッフ一同、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。当院はこれからも地域がん診療病院として出前講座を継続して参ります。ご参加お待ちしております。



永年勤続者表彰

昨年末に開催された都志見病院大忘年会にて永年勤続表彰が行われました。この度は勤続年数30年3名、20年4名、10年3名の方々が授与されました。30年表彰は右の3名の方々です。皆さんおめでとうございます!!



がんのリハビリテーション資格を取得しました



この度、日本理学療法士協会が主催する“がんのリハビリテーション研修会”に坂本医師、長谷川看護師、小川、溝部両理学療法士、中嶋作業療法士、そして松本言語聴覚士の計6名で参加してまいりました。

全国的にがん罹患患者数の増加と、死亡率の減少により、がん罹患後の生存者数は増加傾向にあります。特に乳がんや大腸がんの5年生存率は上昇傾向にあります。がん治療において手術療法での完治が見込めない場合は、化学療法を選択されます。化学療法の副作用として、倦怠感、悪心、食思不振、筋肉量減少による日常生活動作能力低下等の報告がされております。萩医療圏において高年齢のがん罹患患者数は増加傾向にあり、入院中より日常生活動作に支障をきたすケースも少なくありません。がん患者様の在宅復帰ならびに職場復帰の支援に、がんのリハビリテーションが必要です。

がんのリハビリテーションでは、運動療法が、化学療法が引き起こす有害事象を軽減するというエビデンスがあります。日々、主治医や看護師と連携を取りながら、全身状態にあったプログラムを立案して進めております。患者様の想いを叶えるために、ワンチームで取り組んでおります。



リハビリテーション部 技士長 小川寛晃

DMAT実働訓練に参加しました



10月26日、中国地区DMAT連絡協議会主催による、県内での大規模な地震発生を想定した実働訓練に



参加しました。当院DMATチームは防府北基地での航空医療搬送拠点の設置・運営を実践訓練しました。

爆発物災害対策担当者養成講習会：NBCRテロ対策責任者1級を取得！



現在、日本では大規模自然災害が発生することが想定され災害医療への取り組みが進みつつあります。当院は山口県災害拠点病院の認定を受けトレーニングを受けたDMATやJMATを整備しています。しかし自然災害以外のマスギャザリング災害が起こる情勢にありながらその対策が遅れているのが現状であります。マスギャザリング災害とは共通した目的で1000人以上が同一時間、同一地域に集合して行われるイベント等に際しテロリズムや群集心理、パニック、暴動等の因子によって引き起こされる集団災害であります。今回、爆発物災害対策担当者養成講習会に参加しました。全国の災害医療担当医師以外に消防庁、警察庁等の関係者の参加があり日頃の講習会とは異なる緊張した雰囲気でありました。まず、地方であってもいつでもどこでも集団災害が起こる下地があることに驚きを隠しきれませんでした。またポストンマラソン爆発物テロの検証でバイスタンダー（市民）による止血や心肺蘇生等の初期対応によって数多くの命が救われたとの事実には感銘を受けました。爆発物や放射線・化学物質の専門家の講義には睡魔に襲われることなくあっという間に時間が経過しました。今回の講習会を通じて、災害拠点病院として健康かつ安全で安心できる地域社会の構築のために医師会や行政と協働で救急災害医療体制のさらなる充実に尽力すべきと考えます。



- ・山口県災害医療コーディネーター
- ・日本DMAT.: 統括DMAT
- ・NBCRテロ対策責任者1級
- 副院長(外科医師)山本達人

ナースのひとこま ケーススタディ発表会



11月22日(金)17:15から会議室で行いました。各科の専門性がうかがえる内容でした。“学び”として振り返り、次の看護に活かしていきます。

3階病棟 中野智絵
誤嚥性肺炎により退院を繰り返す患者様とご家族との関わりを通して学んだこと

3階病棟 横山佳子
半身麻痺で不安感を持つ患者様への支持的な関わり大切さ



6階病棟 仁保博和
ストーマ粘膜皮膚接合部の創離開に対して行った処置の振り返り

東3階病棟 小野亜希子
高齢糖尿病患者様のインスリン自己注射導入時の関わりから学んだこと



糖尿病チーム Presents 糖尿病講演会

恒例となっております糖尿病講演会を11月26日(火)に開催致しました。今年は32名の方にご参加いただきました。糖尿病専門医、正木洋治医師による「糖尿病網膜症について」の講演を行い、併せての塩の展示や減塩に関連するポスターの掲示をしました。また、「お祭りごっこ」と題して、ご参加いただいた方と一緒に食品つりゲームを楽しみました。毎年恒例の糖尿病講演会!! 開催日等の詳細は、院内ポスターにてお知らせします。ご興味のある方は是非お気軽にご参加下さい。



患者サービス向上委員会 Presents コンサート



12/10 萩弦楽オーケストラ
クリスマスコンサート

東館1階フロアで開催されたコンサートには、患者様・職員を含め約50名の方がご参加くださいました。

弦楽四重奏の生演奏はなかなか聞けません!!とても良かったです♪



12/23 クリスマス・キャロリング

萩光塩学院中学校の学生の皆さん
萩光塩学院高等学校



キャロリングには患者様・職員あわせて70名の参加がありました。美しいコーラスでクリスマスの雰囲気を味わうことができました。学生の皆さんありがとうございました。



クラブ紹介

第20回記念 維新の里萩城下町マラソンに参加しました。第1回から参加している2人は今回記念品を贈呈されました!! 凄いですね(@_@)



都志見ダンスクラブ

月2回、スタジオでのレッスンを積み重ねた結果の披露です

BRAVO~!!





No.10 こたつは人間をダメにするの巻

冬といえば、こたつとみかんですが、この時期に急増するのが、肩から頸部痛、腰から膝痛です。こたつに入ると骨盤と腰椎

周辺にある筋肉が引き伸ばされた状態の座位姿勢(図1)で長時間過ごすこととなり、腰臀部の筋肉が持続的に伸長され、血流が低下した状態が発生します。腰臀部の筋肉は非常に硬くなり腰痛を引き起こします。以前のコラムにも掲載させていただきましたが、腰臀部の筋肉が硬くなると、下腿を外にねじる作用が強まり、膝内側部に痛みを引き起こし、立ち上がりにくさを感じるようになります。

座位が悪いのであれば寝たらいいのではないかということになるのですが、こたつで寝転がった状態(図2)でいつも同じ側のテレビを見ていませんか？長時間同じ姿勢で過ごすことにより、肩関節周囲炎や頸部痛を発症する患者様が多くあります。海外の報告では、“椅子座位で20分取ることにより膝裏の動脈血流は低下し始める”という研究報告があります。コマーシャルの間に家事をするなど定期的に歩き回るようにして、同一姿勢を取り続けないように心がけましょう。不活動になりがちの冬こそ、体をほくしてくれるウォーキングを強く推奨いたします。



図1

こたつによる
長時間に及ぶ
座位姿勢



図2

こたつによる長
時間に頸部から
肩関節にかけた
不良姿勢

